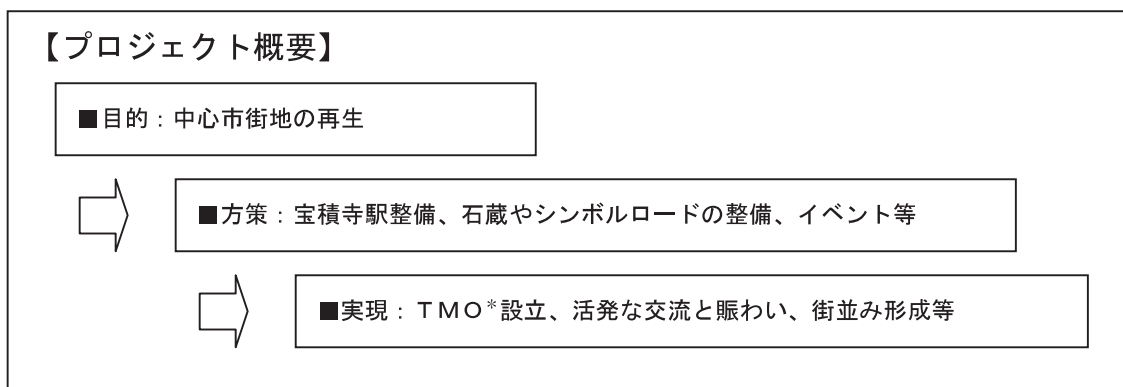


3. 中心市街地活性化プロジェクト



(1) 目的

JR 宇都宮線宝積寺駅を中心として広がる中心市街地（宝積寺市街地）に、かつての賑わいと活気を呼び戻すことを目的として、宝積寺駅及び駅周辺の整備を推進します。さらに、駅周辺の環境整備を行うことによって、朝夕の通勤・通学ラッシュの緩和等、住みやすいまちづくりに向けた取組みを進めます。

(2) 概要

本町の表玄関である宝積寺駅の駅舎橋上化及び東西連絡通路の設置によって、駅の機能充実を図り、利用者の利便性を向上させるとともに、駅東口に接続する道路を整備し、朝夕の通勤・通学ラッシュを緩和します。

さらに、宝積寺駅前の原風景ともいえる大谷石蔵を保存・活用した「ちよつ蔵館（ホール・多目的展示場）」をはじめ、駅前広場等を整備することによって、駅を中心とした住民の滞留性、回遊性を高め、地元商店街での購買意欲を高める環境を整備します。

また、これら町が行う施設整備と並行して、これからの中心市街地の活性化に向けたまちづくりに必要な人材の育成や組織づくりが必要なことから、現在、商工会が中心となって設立を進めているTMO組織*の支援を行います。なお、TMO*設立後については、TMO*に対して町が整備した施設の管理・運営等の委託を進めるとともに、TMO*が主体となって進める駅周辺駐車場の整備等施設整備事業に対し、商工会とともに側面的な支援を行います。

①宝積寺駅及び駅周辺施設の整備

- ・ 駅舎の橋上化
- ・ 東西連絡通路、接続道路及び駅前広場等の整備
- ・ 大谷石蔵の保存、活用

- ・「ちよつ蔵館（ホール・多目的展示場）」の整備

②TMO組織*の設立及び設立後の支援

- ・ TMO*の設立に関する指導、助言及び補助
- ・ TMO*に対する駅周辺施設の管理、運営委託
- ・ TMO*実施事業に対する側面的支援

(3) 5年間の目標

- 宝積寺駅及び駅周辺施設の整備を早急に推進します。
- TMO*の設立及び設立後の支援を行います。
- 「ちよつ蔵館（ホール・多目的展示場）」のTMO*への委託（指定管理者制度*を活用）を進めます。
- TMO*が主体となって実施する施設整備事業（駅前駐車場等）に対し、側面的な支援を行います。

指標	平成 16 年度	平成 22 年度
宝積寺駅及び駅周辺施設整備	整備中	平成 18 年～19 年度 整備完了
TMO*の設立と運営支援	未計画	平成 17 年～18 年度
「ちよつ蔵館」のTMO*委託	—	平成 19 年度～
TMO*による施設整備事業の側面的支援	—	平成 19 年度～

(4) 実現するための方策

① 宝積寺駅及び駅周辺施設の整備

これまで、宝積寺駅及び駅周辺施設の整備については、周辺住民の理解・協力を得るための環境整備を中心に実施してきましたが、平成 18 年度以降については、駅舎、連絡通路等の整備をはじめ、本格的な施設整備事業に着手します。

整備に当たっては、駅利用者の利便性の向上やバリアフリー*化、アクセス性の向上等に着眼して整備を進めると同時に、中心市街地の活性化という目的を達成するための核となる施設、という視点に立って整備を行います。

② TMO*の支援

宝積寺駅及び駅周辺施設等、中心市街地活性化の核となる施設については、行政が責任を持って整備を行います。しかし施設整備後の利活用や運営については、商工会や宝積寺地域の皆さん、さらには駅を利用する皆さんが、主体的に関わらなければその目的を達成することはできません。

現在、商工会を中心に組織化が進められているTMO*は、中心市街地の活性化を考えたとき、その中核を担う組織であり、町が整備した施設の効果的・効率的な管理、運用及び利活用の検討を行うと同時に、独自の施設整備を含めた事業展開を行うことが期待されています。

町では、TMO*の設立に向けての支援を積極的に行うと同時に、設立後についても、商工会とともに側面的な支援を行っていきます。